

## 2003 年度

### 水口 日本人最高位 3 位

長野マラソン (長野県: 長野市)

#### 水口紀幸

マラソン 2 時間 14 分 26 秒 (3 位)

### 長野マラソン

陸上の第5回長野五輪記念長野マラソンは20日、長野県山ノ内町から長野市南長野運動公園までのコースに4714人が参加して行われ、男子で徳島県の水口紀幸(大塚製薬)が2時間14分26秒で日本人最高の3位に入った。今回が3度目のマラソンで、過去最高タイムをマークした。

男子はシドニー五輪銀メダルのエリック・ワイナイナ(コニカ、ケニア)が2時間12分0秒で3年ぶり2度目の優勝。2位にはアトランタ五輪金メダルのジョサイア・チュグワネ(南アフリカ)が入った。水口は35<sup>分</sup>過ぎで抜け出して前を行くこの2人を追い、そのままゴールした。

女子はマディナ・ビクタギロワ(ロシア)が2時間28分23秒で重覇を果てした。



○: 23歳の水口(大塚製薬、写真)

が3度目のマラソンで真価を發揮した。五輪メダリスト2人に続いて3位でゴール。「15分を切って入賞する、という目標が達成できてよかった」。淡々とした語り口に、喜びが込められていた。

レース展開を読んで冷静さと大胆さを使い分けた。「外国人選手が速かったので、最初はペースを乱されないように後ろの集団で我慢した。後半は思い切ってサポートした」。35<sup>分</sup>過ぎで並走していた小沢(コニカ)を振り切り、一気に日本人トップに立った。

「充実した練習ができていたので、自信はあった」。これまで北海道マラソン(毎年8月)で一昨年は14位、昨年は11位だった。徐々に力を伸ばし、今冬のアテネ五輪の選考レースも視野に入ってきた。

「夏と春のマラソンしか走ったことがない。冬のマラソンも走ってみたい」。